



やまがた ゆきみらい通信

～雪と生きる 雪を活かす～

第8号

発行所 やまがたゆきみらい推進機構

〒995-0024 村山市榎岡笛田 4-5-1

TEL:0237-47-8614 Fax :0237-55-5236

E-mail ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

第2回やまがたゆきみらい シンポジウムを開催

今年度二回目となるやまがたゆきみらいシンポジウムが七月二十八日に約七十名が参加し、村山総合支庁北庁舎講堂で開催された。

今回は「雪冷熱エネルギーの利用」をテーマに講演や事例発表が行われた。

財団法人雪だるま財団（新潟県）の伊藤親臣チーフスノーマンが基調講演を行い、雪冷房が導入されている上越市の小中学校で、雪という身近な資源が環境教育の教材に生かされている例をはじめ、民間レベルでも雪冷房や雪室を導入している一般住宅が地域振興に寄与していたり、米貯蔵に利用して有利販売



基調講演を行う伊藤氏

につなげたりしている事例を紹介し、雪国の新たな可能性について説いた。

この後、米沢市の精英堂印刷株式会社常務取締役の井上吉昭氏が「環境と品質」と題して、

社屋の雪冷房成功に至る苦労話や、環境に負荷をかけるい水なし印刷等への取組みを、また、山形大学大学院の芹澤尚宜氏及び中村亮氏の両氏が、雪氷冷熱に関する研究成果をそれぞれ発表した。



平成21年度総会を開催しました

平成二十一年度の総会が五月二十七日、村山総合支庁本庁舎で行われた。

今回は役員の改選が行われ、大場会長のほか、桂木、佐藤両副会長が再任され、新たに菅野滋村山総合支庁長が副会長に、渡邊弘明村山総合支庁地域振興監が事務局長に就任した。また、各部署の充実を図るた



幹事に就任した。今年度事業として、屋根雪処理部会では具体的な克雪住宅の提示に向けた活動を、宅地内雪処理部会では市街地の雪処理の現況調査による課題の把握を、

利雪部会ではもみ乾燥の実証試験に取り組みこととなった。最後に屋根雪部会長で東北芸術工科大学の山畑信博教授が記念講演を行った。

白熱！「雪サロン」

今年度最初の雪サロンが六月三十日に村山総合支庁北庁舎で開催された。

利雪部会長で山形大学の横山孝男教授のコーディネートで進められ、大石田町新作物開発研究会の海藤会長から、雪室を使った自然薯の貯蔵について話題提供がなされた。その後、高湿



度で温度変化の少ない雪室で貯蔵する優位性が示された反面、カビ等への対処方法が課題だととして、参加者からは具体的なアイデアが活発に出され、有意義な議論の場となった。